

採点・評価基準(具体的基準)

教科・科目名	小論文(後期日程試験:令和8年度)	問題番号	SA
対象学部・学科(課程)等	人文社会科学部(社会学科)		
出題のねらい	<p>課題文は、人種や性別などに由来する社会的格差に対して私たちがどのように向き合い、無意識のうちに現状を正当化して受け入れてしまうのかを、社会心理学の視点から説明したものである。「システム正当化理論」に基づき、人々が不公平な社会でも変化を避け、安定を求める傾向にあることが述べられている。</p> <p>本試験では、こうした内容を正しく理解する読解力と、自身が生活する社会の中にある「格差」を捉え、それに対する自分の考えを論理的に表現する力を問うことをねらいとする。</p> <p>問1では、「システム正当化理論」について理解し、なぜ格差が維持されてしまうのかを読みとり、要約する能力を問う。</p> <p>問2では、社会の一員として、周囲にありふれている「格差」を見逃さず捉える能力と、課題文で説明されている心理的なメカニズムを正しく理解し、自身の考えを論理的に述べる能力を問う。</p>		
採点基準	<p>問1 配点30%(60点)</p> <p>① 課題文にある「システム正当化理論」を正しく理解していること。 ② 予測不能な事態や変化を避けるという人間の特徴を説明をしていること。 ③ 文章全体に整合性があること。 ④ 誤字、脱字、文法上の誤りがないこと。</p> <p>問2 配点70%(140点)</p> <p>① 社会的な視点を有していること。 ② 例示されたものが「格差」の例として適切であること。 ③ 本文の内容を取り入れて考えを論理的に記述していること。 ④ 文章全体に整合性があること。 ⑤ 誤字、脱字、文法上の誤りがないこと。</p>		